

レインボー学童クラブ便り

きらきら

レインボー学童クラブ

レインボー第2学童クラブ

2024.7.1



たのしいおやつ♪

毎日のおやつは子ども達にとって楽しみのひとつになっています。職員が準備をしていると「今日のおやつは何?」と毎日のように尋ねられます。その中でもチョコレートや焼きおにぎり、ピザなどが人気で、おかわりは争奪戦です。先月はきなこ揚げパンが出て、「おいしかったー!」と嬉しい言葉を聞くことができました。中には初めて食べたという子もいて、おやつを通して食の幅を広げる良い機会となったようです。

おやつの時間は子ども達が進行し、準備や片付けの手伝いも行います。

3時を過ぎると、5時間で下校する子ども達がクラブには揃います。それから20分になると、おやつの用意に入ります。使っていた玩具や宿題も一度片付けし、簡単な清掃(机拭き、床掃除)を行います。机拭きはすみずみまで綺麗に拭いてくれるのですが、床にはレゴや折り紙が落ちていることもあるので、みんなで意識を高めていきたいと考えています。

片付けが終わると、当番の進行でおやつの時間を進めていきます。この当番をやることを楽しみにしている子も多く、原則として週1回までと決めています。はじめは緊張していた1年生も今ではみんなの前に立つと堂々としています。おやつを食べ始める前には職員から今日の予定や連絡事項を伝え、子ども達はおやつが並んだテーブルから、食べたい物をお皿にとり、進行のお友達の「いただきます」のあいさつで食べ始めます。

活発な子ども達にとっては、ゆっくりとお友達や職員と会話を楽しむ時間は案外少ないもので、子ども達なりに充実させているのでしょう。お友達との関係をより深め、居心地の良さを感じてもらえると嬉しいです。

集中して工作

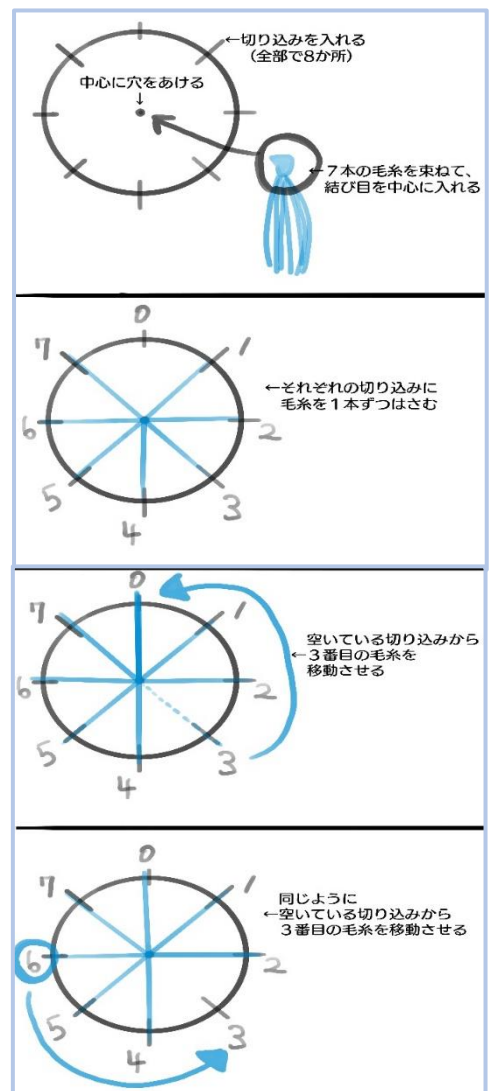
雨の日が増えてくる時期に合わせてミサンガ作りができるように準備をしました。準備する物は「丸く切った段ボールの中心に穴を開け、円周に8か所の切り込みを入れた段ボール」です。その切込みから7本の毛糸をそれぞれの切り込みに引っ掛け、1か所空いた切り込みから3番目の毛糸を、空いた切り込みに引っかける作業をひたすら繰り返していくと中心の穴からミサンガができていきます。言葉だと伝わりにくいので、右図を見てください

編んでいく際のポイントは空いた切り込みから3番目の毛糸を取る時に同じ方向で数えていくこと。途中で右回り、左回りが混ざると、毛糸の長さにズレが生じ、きれいに仕上がりにません。

単純作業の繰り返しですが、子ども達はいざ始めると黙々と集中して取り組んでいます。雨の日でも「外遊びに行きたい!」と訴える子でも、ミサンガ作りになると夢中になり、ようやく完成すると嬉しそうな表情で見せてくれて、すぐに手首などにつけて満足げに持ち帰る姿が印象的です。

6月はステンドホイル作りも行いました。段ボールに幾何学的に毛糸を巻きつけ、アルミホイルで包んだ上からごぼこと生まれたへこみの部分に色を塗っていきます。毛糸を巻く工程に苦戦したり、色を塗る時に力を入れすぎてアルミホイルに穴が開けたりしたこともありましたが、綺麗な作品が出来上がりました。

中にはただ色を塗るだけでなく、絵を描いたり好きなキャラクターの色味に合



わせて全体に統一感を持たせたりした作品もあり、子ども達の豊かな発想力と再現力に驚かされました。

工作は指先の感覚が発達するだけではなく、諦めずに粘り続ける力や工夫を積み重ねて努力し続ける力なども身につけることができます。楽しみながらも様々な感覚を刺激していける工作を提供し続け、子ども達の成長と発達に繋げていければと思います。



7月の予定

連絡・お願い

13日(土) 休所日

15日(月) 海の日

19日(金) 小学校終業式

23日(火) ポーリング大会

25日(木) お誕生日会

26日(金) 防災訓練

～帽子を被ります～

外遊びをする際に熱中症対策の観点から帽子を着用しますので、必ずご準備ください。また、帽子はクラブに置いておいても構いませんが、週末には持ち帰りますので、週明けに持参してください。

～面談ありがとうございました～

保護者面談にご協力いただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。皆様にとって気になる事、お子様の様子の新発見などありましたでしょうか。普段なかなかお話をする機会の無い保護者様ともお話をすることができ、有意義な時間となりました。何か気になる事、あの時話せなかった事などありましたら、お声がけいただければと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

コラム:勉強にもインセンティブ!?

個人面談に参加していただき、ありがとうございました。クラブでの生活以外にも学校の勉強や塾についても話題が登り、「なかなか勉強したがない」というお話を伺いました。確かに、自分も小学生の時はすすんで勉強したという記憶は一切ありません。「今のうちに勉強しておくことが、将来のためになる」という考えは、大人になった私は重要で大切だと信じています。どうしたら子どもは積極的に勉強してくれるのでしょうか。その方法のひとつとして「ご褒美をあげる」ことも上手く活用できると良いのかなと感じています。

人間という生き物は目の前の利益を大きく見てしまう性質があり、特に認知の発達が未熟な子どもは、理解するのが難しいと言われています。でも、この“目の前の利益が大きく見える”という性質を言い換えると“目の前のご褒美を優先する”と捉えることができ、子どもはご褒美があると何事もやる気があがってしまうのです。

ご褒美の上げ方も重要で、簡単に言うと「テストで100点を取るとご褒美!」と約束するより「毎日20分勉強したらご褒美!」と約束する方が、効果が高まると言われています。結果には不確定な要素も多くありますが、自分の努力でできる行動は、自分の考えで実行することができます。努力する行動にご褒美があると、取り組むことが明確になり、効果が高くなるそうです。

このご褒美のあげ方は大人になっても有効なので、何か目標がある方は取り組むことにフォーカスし、自分のご褒美を作ってみてください。私自身も自分の頑張りにご褒美をあげようと思います。私の場合はやっぱりお酒かな。。。 今田 康介